

こんにちは。令和2年も、もうすぐ終わろうとしています。日野台高校は、コロナの中にあっても、皆さんの学びたい気持ち、生徒同士つながりたい気持ちを大切にしたいと考え、様々な感染症対策に取り組みつつも、なるべく以前と同様の学校生活が送れるようにと取り組んできました。

朝、学校の入口で、「体温データ送りましたか」と言い続けてきましたが、健康管理をしっかり行うことは、自分のためでもあり、友達のためでもあり、周囲の人たち、家族のためにも必要なことです。このことは、日野台高校が、生活スタンダードで呼び掛けている「思いやり」にもつながることだと思います。

今日、皆さんに配付する両面刷りのプリントに、「冬季休業中における健康観察のお願い、学校への連絡について」、裏面に「年末年始における新型コロナウイルス感染症対策等について」があります。ご家族の方と一緒に読んでください。プリントにも書いてありますが、冬休み中に、もし、自分自身や同居のご家族がPCR検査を受けることになったら、結果が出てからではなく、すぐに学校へ連絡してください。でも、急に体調が悪くなって病院へ行ったら、その場でPCR検査を受けることもあります。その場合も、すぐに学校へ連絡してください。プリントに緊急連絡先も書いてあります。コロナウィルスは、国立感染症研究所が、積極的疫学調査を行って、発症する2日前から、周囲に感染することが分かっています。ですから、保健所や医師から濃厚接触者と言われたら、発症しなくても、その後、陽性と分かることもあるので、自宅待機することが、もしもの場合の感染予防につながります。なお、1月4日(月)に始業式を予定していますが、万が一、予定が変更になる場合は、学校のHPに掲載する予定です。1月3日(日)夜9時以降に確認してください。

ところで、今、東京都の感染者数は、800名を越える日もあります。言い換えれば、どんなに感染防止対策をしても、うつってしまうこともあるということです。ですから、陽性になった人や、治療を経て回復した人への誹謗中傷は絶対に許されないことです。また、医療関係者や社会を支えてくださっている方への感謝の気持ちを改めてもちたいですね。先程も言いましたが、日野台高校には、「思いやり」という文化があります。

その上に立って、十分な睡眠、適度な運動、バランスのとれた食事をとることで抵抗力を身に付け、3密の回避、正しい手洗い、洗顔、入浴、マスク着用などをこころがけてください。

さて、今は、不透明な時代、先の予測が困難な時代だと言われています。コロナの関係で急速にオンライン化が進んだり、AIが現実社会で急速に活用されたり、海外との交流に急にブレーキがかかりグローバル化の大切さを感じたりと、皆さんも実感していると思います。

ある研究では、皆さんのような世代の人たちの平均寿命は有に100歳を超えと言われています。長い人生、不透明な時代を乗り越えるために、経済産業省では、「人生100年時代の社会人基礎力」を提唱しており、1つ目に「考え抜く力」、2つ目に「チームワーク」、3つ目に「自ら行動」することが大切だと言っています。これからの不透明な時代には、様々な専門性を身に付けた人たちが、協力して解のない問いに答えていく必要があります。高度な「専門性」は、大学や大学院で身に付けましょう。では、「協力して解のない問いに答える」には、どうしたらいいのでしょうか。もちろん、クラス活動、部活動、学校行事などを通して、チームワークを身に付けることは何より大切です。さらに必要なことは、今、学んでいることを、偏りなく、学ぶということです。他の人と協力して仕事をするためには、文系の人には数学や理科の力も必要とされます。理系の人には語学や社会科の力も必要とされます。スポーツ系や芸術系の人には、文理両方の力が必要とされます。チームで仕事をするとき、違う専門の人が言っていることが分からなくては困ってしまいます。今学んでいることは、基礎・基本です。基礎・基本とは、“やさしい”ということではありません。“大切”なことです。大切なことを“偏りなく”学んでほしいのです。ですから、日野台高校は、1年も2年も、文理に分けず学んでいるのです。様々な勉強をするのは大変だと思っている人もいるかも知れませんが、高校で学ぶすべての科目をしっかりと身に付けほしいです。そのために、普段のすべての授業を、どの科目もおろそかにせず大切にしてください。本校は、進学指導推進校です。将来、皆さんには、社会の様々な分野で活躍してほしいのです。文部科学省は、「今後10年程度を見通し、基本的に文理両方を学習した大学進学者の育成を目指す。データサイエンスの基礎となる確率・統計やプログラミング、理科と社会科の基礎的分野を必修にする」と言っています。

さて、短い冬休みですが、短いからこそ、時間を大切に、計画的に学習にも取り組み、また、皆元気で新学期を迎えたいと思います。